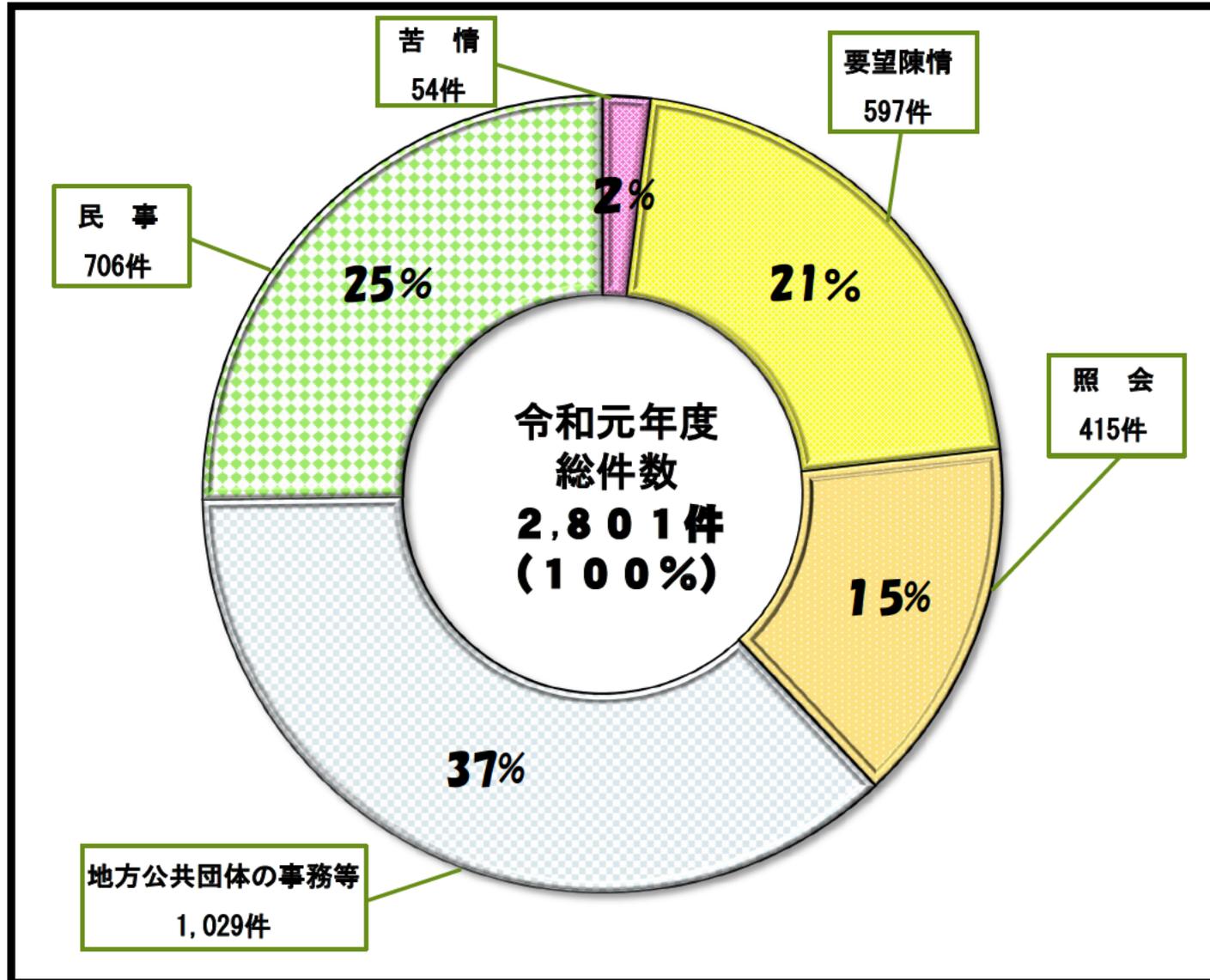
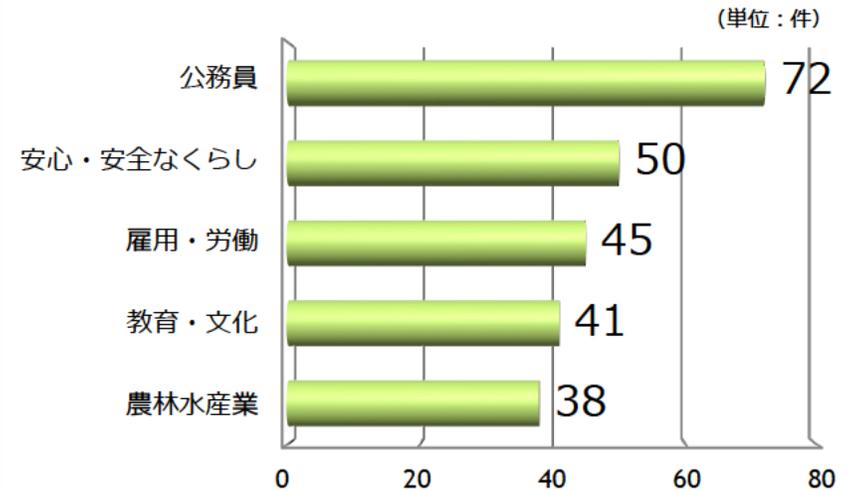


令和元年度相談処理件数の実績



(参考) 苦情及び要望陳情事案の行政分野処理件数上位5分野



(注) 当センターが処理した事案について計上した。

令和元年度に取り扱った主な相談事例①

相談内容

国道56号線沿いにあるバス停（下り）で、路線バスを降りた地元の高齢女性が、横断歩道を横断中に車にはねられ死亡する事故が発生しました。このバス停は、見通しが悪く、以前から交通事故の危険性が指摘されていきましたので、行政相談委員は、この機会に何らかの具体的な対策を講じる必要があると考えました。

改善結果

行政相談委員が中心となって、安全対策について、地元自治体や関係機関（国、県、警察署、バス会社）との間で協議を重ねました。その結果、バス停を県道側にある町営のバス停に移設し、町が県有地（無償提供）にバス転回場を整備したことで、地元住民が安心してバス停を利用できるようになりました。

バス停留所からトンネル方向を眺めたところ



県有地に新たに整備されたバス転回場



令和元年度に取り扱った主な相談事例②

相談内容

国道317号のセンターライン等が消えていて危険な状態である。交通量もかなり多く、交通事故の原因になるので、センターラインを引き直してほしい。

改善結果

本件は、相談を受けた行政相談委員から当センターに情報を頂いた後、センターが現地確認を行いました。現地確認の結果、相談内容のとおりであったため、センターから愛媛県へあっせんをしたところ、道路の白線だけでなく、横断歩道の引き直しを含めて区間全体の整備を県警と協議中であるとの回答があり、後日、センターライン、横断歩道等が引き直されました。

〈改善前〉



〈改善後〉

